



実践団体情報

記入日	西暦 2020 年 12 月 25 日 (2020 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岐阜県立大垣特別支援学校
代表者名	松原 勝己
プラン全体のタイトル	守ろう自分の命、家族の命 ～高める防災力の輪～
電話番号	(0584) 89-4816
メールアドレス	c27371@gifu-net.ed.jp
実践団体の説明	知的障害、肢体不自由、病弱障害のある児童生徒が学ぶ特別支援学校である。校内分掌に防災安全部を設置し、防災教育や、家庭、地域との連携の推進に取り組んでいる。
所属メンバー	代表 校長 松原勝己 担当 防災安全部長 山本隆史 防災安全部防災推進係を中心に計画・実施
活動地域	・岐阜県立大垣特別支援学校及び児童生徒居住地域 〔大垣市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・池田町〕 瑞穂市 ・交流校所在地（愛知県豊橋市）
活動開始時期・結成時期	令和元年 1 1 月から（計画時期含む）
過去の活動履歴・受賞歴	

プラン全体の概要	災害発生時は、児童生徒自身が自分の命を守る力や学校職員、家庭、地域の防災力が必要である。しかし、当校は、防災に関して、家庭や地域との連携が不十分であった。そこで、学校・家庭・地域の繋がりある防災力を一つの輪と考え、一つ一つの防災力を高め、防災力の輪を強化し、命を守り切る力をつける活動を実践した。 1. 学校（児童生徒・職員）の防災力を高める取組み ○学校防災計画（災害対策マニュアル）を職員に周知徹底する取組み（職員防災力テスト）
----------	---



	○命を守る訓練 ○シェイクアウト訓練 ○防災掲示板 ○生活単元学習での防災学習 (小学部 5 年生・中学部 3 年生・高等部 3 年生) 2. 家庭の防災力を高める取組み ○家庭の減災力テスト ○災害伝言ダイヤルクイズ ○家庭への情報発信（保健だより） 3. 地域との連携を深める取組み ○合同研修会（校内見学・HUG）
--	--



プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	シェイクアウト訓練立案		
5月	職員防災力テスト立案	職員防災力テスト作成	
6月	家庭の減災力テスト立案 合同研修会立案	減災力テスト用紙印刷 自治会への案内作成	シェイクアウト訓練（毎月） 職員防災力テスト（毎月）
7月	災害伝言ダイヤルクイズ 立案 合同研修会講師との打ち 合わせ	保護者案内、解答用紙準備 研修会資料準備	家庭の減災力テスト（1回目） 保健だより配付（避難方法） ＊9月、11月にも配付 防災掲示板更新（備蓄） 自治会との合同研修会
8月	第1回命を守る訓練立案	実施要項作成	災害伝言ダイヤルクイズ
9月	防災掲示板内容検討	掲示物作成	第1回命を守る訓練
10月	生活単元学習単元計画 交流校と日程調整	教材準備 オンライン交流用機材準備	防災掲示板更新（地震対策）
11月	生活単元学習計画調整 交流校と内容調整	家庭内DIG用紙等 オンライン交流用機材	生活単元学習（防災学習） 豊橋特別支援学校交流授業
12月	防災掲示板内容検討	掲示物作成	家庭の減災力テスト（2回目）
1月	第3回命を守る訓練立案	実施要項作成	
2月			活動報告会
3月			

プラン全体の反省点・課題・感想	・職員防災力テスト等、既存のシステムを用いて実践することで、実施者の負担を大幅に増やすことなく、新たな防災活動に取り組むことができた。 ・他校との交流等を通し、自分の考えを自分の言葉で相手に伝えることができ、学習内容の定着が見られた。
今後の活動予定	・今年度取り組んだ活動について、検証・改善しながらより良い活動に発展させていく。 ・防災安全委員会（会議）に地域住民や専門家に参加してもらい、地域との連携を深めていきたい。